

はやま住民福祉センターだより

今月のテーマ

**ビッグレスキューかながわ(令和4年度神奈川県・葉山町合同総合防災訓練)
災害救援ボランティアセンターの設置・運営訓練を実施します！**

令和4年10月16日(日)に標記防災訓練を神奈川県と葉山町が合同で実施します。

大規模災害の大正型関東地震発生時における自衛隊、在日米軍及び県医療関係機関等との連携強化を図るとともに、沿岸町の津波対応力を高め、自主防災組織を中心とした地域防災力の向上と防災意識の高揚を図ることが目的です。

中央会場(南郷上ノ山公園)と地域会場(葉山港・南郷中学校など)に分かれて、自主防災組織・消防団による訓練や、救出救助訓練、情報収集伝達活動訓練、救援物資輸送訓練などの10種類の訓練を実施します。それらの訓練の1つである、災害救援ボランティアセンターの設置・運営訓練は、本会と葉山災害ボランティアネットワーク(HSVN)が協同して行います。訓練のおおまかな内容は、自宅や敷地が被災してしまい、自分たちだけでは片付けをすることが出来ない方からのボランティア協力の求めに対する、ニーズの聞き取りやボランティア活動を名乗り出てくれた方からの受付と派遣から活動終了に至るまでの一連の動作となります。またそれに伴う情報収集や伝達のため、県社協や県共同募金会などの関係機関等とも連携して、平常時から想定されている連絡書類の受渡しなども実施します。

しかし有事の際には障害者や要介護高齢者、妊婦などの様々な方の対応も必要となるので、今回は聴覚障害のある方と一緒に訓練を行います。手話でのコミュニケーションや要約筆記などの対応も不可欠となりますので、県要約筆記協会や手話サークル団体などにもご協力をいただき実施する予定です。

当日は町内巡回バスの運行を予定しており、一般の方も見学ができるようになりますので、ぜひ会場へお越しください。詳細は決まり次第、改めてお伝えいたします。

社会福祉協議会は、各地で大規模な被害があると協定に基づき職員を被災地に派遣して、災害ボランティアセンターの運営支援をしております。センターのお手伝いをするとともに、葉山町が被災した際の運営ノウハウを学んでおります。今回の訓練にもその経験を活かしたいと思っております。



(過去の訓練の様子)

きかちゃん 帰国しました！

きかちゃんは術後の経過観察期間を無事に過ごし、医師から帰国の許可がおりました。きかちゃんご家族は、現地時間2022年8月28日にジョン・F・ケネディ国際空港を出発し、日本時間8月29日に羽田空港に無事到着しました！



「きかちゃん、おうちにかえろうね！」きかちゃんご家族に心からのおかえりなさいを。きかちゃんが元気になり、家族4人で過ごせるようになったのも、これまで皆様からの多大なるご支援とご協力のおかげです。改めて心より御礼申し上げます。
(きかちゃんを救う会H・P抜粋)

大学生が実習に来ています！(8月17日から9月16日まで)

関東学院大学現代社会学科3年の菅原瑞菜です。住民の方との関りを通して、強い信念や地域のために何かしたいという様々なお話が聞けてとても勉強になっています！地域福祉における社協の役割を現場を通してこれからも学び続けたいです。よろしくお願いします！

神奈川県立保健福祉大学社会福祉学科3年の東里帆です。住民の方と一緒に活動をさせていただいたり、社協の役割や活動を知っていくことで地域における福祉とは何かということを知りたいと思っております。よろしくお願いします！

不登校・ひきこもりの家族会 葉山 ゆずり葉の会

9/29(木)10/27(木)家族会開催
10:00～不登校
13:30～ひきこもり
会場:葉山町社協2階会議室

申込・問合せ
zushi.yuzurihanokai@gmail.com
https://yuzuriha.jimdosite.com/